



あすなろ



出会う・考える・変える

校長 鈴木 華奈子

雨が降る朝、登校中の子どもたちが歩道で立ち止まり地面を見て話しています。「ミミズがたくさんいる。」「なんでこんなにいるんだろ?」「お引越し?」「…?」「頭、振ってる。」「なんか探してる?おなかすいてるのかも。」「こっち、みんな動かない。」「雨でおぼれたの?」「ここじゃ踏まれちゃう。はじっこに…。」「またね〜!」子どもたちは生き物と出会い、想像をかきたて、小さな命を守ろうとする行動につなげていきます。



科学研究出前授業、「金属でできている船が荷物をいっぱい積んでも沈まないのはなぜ?」と問われた子どもたち。「え?」「当たり前だと思ってた。」アルミ箔とおはじきで調べていきます。

「▽底にする?」「底が広い方がたくさん載るんじゃない?」「傾くとすぐ沈むね。」「おもりが集まらないように置いていく?」「船に水が入るとすぐ沈む。」「もう少し壁高くする?」「底が狭くならない?」「端の壁に隙間ない?」「やっぱりさ、底の広さと壁の高さなんじゃない?」「でもさ、船は細いよ」考えを出しあいながら、やり方を変えるたびに新たな気づきが出てきます。



社会の授業、スーパーマーケットで買い物をする理由をおうちの人にインタビューしてきました。理由が書かれた札がたくさん並ぶ黒板を見て、「これ、グループにすれば?」とある子が言います。「え?どういうこと?」「……。」他の子が立って「これとこれ?」とカードを動かします。「ああ、似てるのを集めるってこと?」「おれも、動かしたい!」「カード全部、仲間に分けられる…?」「できそう。」声を出し、思いを受け取り合い、考えて、変えて、納得が生まれます。



パラスポーツ体験型授業「あすチャレ!スクール」(主催:日本財団パラスポーツサポートセンター)でシドニー2000パラリンピック車いすバスケットボール男子日本代表キャプテンだった根本慎志さんのお話を聞いた子どもたちが感想を書きました。「たくさんの時間と練習を積んで困難を乗り越えて前向きになったんだ。すごいなと思いました。」「難しいことでも応援があると頑張れることを学びました。」「『できない』ではなく、なんにでもチャレンジして挑戦していきたいです。」「チャレンジしてできなくてもチャレンジしたことを前向きにほめよう!」出会い、考え、これからの挑戦を綴っていました。



出会う・考える・変える が、たくさん詰まった1学期の日々でした。夏休みは、その機会がもっとあることでしょう。子どもたちの挑戦をおうちの方とともに応援していきたいと思います。

最高の「どきどき・わくわく」を形に～佐渡修学旅行～

6学年担任

6月11日（木）・12日（金）に、佐渡に修学旅行に行ってきました。「さどがしま（さいこうに どきどき わくわくがつまった 小学校最後のまなびの島）」をスローガンに掲げ、1年生が作ってくれたお守りを胸に活動しました。佐渡ではトキの森公園、迫力ある太鼓体験、たらい舟や砂金採り、そして2日目の佐渡金銀山歴史巡りなど、どの活動でも子どもたちは目を輝かせ、燕市との違いを意識しながら深く学んでいました。

今回の修学旅行で子どもたちが見せてくれた「自立と自律」の姿勢には目を見張るものがありました。それを象徴する出来事は、1日目の夜、部屋ごとの振り返りを行う時間のことです。子どもたちは「他のお客様のことも考え、静かに過ごす」という約束を意識し、大変落ち着いて活動していました。その時、廊下を通りかかった他校の先生が部屋の前で足を止め、感心した様子で私たちにこう声を掛けてくださったのです。

「今は何をしている時間ですか？……皆さん、ものすごく静かにできている！優秀ですね！」

他校の先生からの言葉に、教員として誇らしく、胸が熱くなる思いでした。「燕東小学校の代表」としての自覚をもち、今どう行動すべきかを一人一人が考えて行動できた証拠です。しおりを片手に「5分前行動」を徹底し、全員が役割を意識してきびきびと動く姿に、最高学年としての風格を感じました。

佐渡で得た素晴らしい経験と、仲間との絆は、これからの学校生活を引っ張っていく大きな原動力となるはずです。残り少ない小学校生活ですが、一回り大きく成長した6年生のリーダーシップにご期待ください。



笑顔と「あいがとう」がいっぱいの学校へ ～いじめ見逃しゼロの取組～

生活指導主任

6月は、いじめ見逃しゼロ強調月間でした。本校では、この期間にいじめアンケートや教育相談など実態をつかむ取組の他に、いじめの未然防止の観点からもさまざまな取組を行いました。特に、一人一人を大切にする学級1取組では、各学年でいじめを生まないために、日頃からどんな活動をしていけばよいのかを考え、一年間を通してする活動を話し合い、実施しています。「ふわふわ言葉を使う」「しらんぷりをしない」「自分がされて嫌なことは友達にもしない」「ありがとうの気持ちを伝える」「さん付けで名前を呼ぶ」「友達の良いところを伝え合う」「優しい言い方をする」「だれにでもあいさつをする」「クラスの悩みを話し合いで解決する」など、学年の発達段階に応じた内容で取り組んでいます。活動の様子は、体育館入り口に掲示されていますので、来校の際はご覧ください。

毎朝、委員会児童を中心に行っているあいさつ運動では、「全校で目と目を合わせてあいさつしよう！」と呼び掛け、ペア学年で1週間ずつ行いました。上の学年の児童がリードしながら、笑顔であいさつをする様子はとても温かく、これからも広げていきたい素敵な姿でした。

また、6月の児童朝会では、「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。各学級の取組を全校に紹介してもらい、その後、全校で、いじめ見逃しゼロ宣言をしました。みんなでいじめのない学校を作っていこうという気持ちを高めました。なかよしあすなる班のみんなで円になって力を合わせるゲームも行い、声を掛け合って楽しみました。

さらに、年間を通して異学年交流で感じたペアへの感謝の思いや良いと思った姿などをその都度カードに書き、言葉と気持ちを伝えながら交換していきます。それを各教室前に掲示してある「あすなるの木」に貼り、温かい気持ちで木を大きくしていきます。

全校で、いじめを許さない・いじめを見逃さないという意識をもって、みんなが笑顔で過ごせる燕東小にしていきます。毎日の仲間との関わりを大切にしていじめを生まないようにし、仮にいじめが起きたとしても、即時対応に全職員で努めていきます。何か気になること、ご心配なことがありましたら、遠慮なくお知らせください。

